

いただいたご感想

映画「レインマン」で初めてサヴァン症候群を知りましたが、  
いわゆる自閉症と呼ばれる人々の<異能>には、  
人間という生物の神秘を感じます。

平凡な風景、平凡な物が 祐二君のカメラを通すと  
不思議な輝きを発することに感動します。ありがとう。

詩人・谷川俊太郎さん

## 発達障害を生きるとは？

京都に住む自閉症のアマチュア写真家が

初めて母の手を離れ、沖縄を旅した...

たくさんの方のぬくもりに触れながら沖縄を撮った!!

ドキュメンタリー映画「普通に生きる〜自立をめざして〜」続篇の完成を前に  
マザーバードがお贈りする心あたたまるドキュメンタリー

ドキュメンタリー映画/HD/68分  
©2014/製作・著作・配給：マザーバード  
www.motherbird.net



制作・撮影・構成・編集：貞末麻哉子  
プロダクションマネージャー：梨木かおり  
整音&MA：中山隆匡  
ポストプロダクション：Cinema Sound Works  
音楽&ナレーター：chiharu



挿入歌  
「あめぞら」

ドキュメンタリー映画

# ぼくは写真で世界とつながる

## ～米田祐二22歳～

裏面に詳細があります  
上映会 in 富士市のご案内

日時：2015年 **9月21日** (月)

上映後にトークとミニライブがあります

場所：ラ・ホール富士 2階ホール

「ぼくは写真で世界とつながる」上映実行委員会  
TEL: 090-7957-6773

出演：米田祐二 / 一般社団法人 Kukurū 鈴木 恵 / インクルラボ 山村哲也 / NPO法人医療的ケアネット 中畑忠久 / 米田千鶴 / 米田宏平 / 米田美栄子 / 金城 実 / 金城初子 / ごう(Gallery&bar土) / 小松真菜 / 小松恵理 / 西村美里  
作品に関するお問合せ・上映のご要望等は = マザーバード office@motherbird.net・TEL: 03-6913-5591 へお問合せください / Twitterやfacebookにもいます / 映画の公式サイト: <http://www.motherbird.net/~bokutuna>



ぼくの旅日記のおまじなわ  
 ぼくは人生の旅はまだまだ始まったばかり...

ドキュメンタリー映画

# ぼくは写真で世界とつながる

## ～ 米田祐二 22歳 ～

祐二さんが撮影したシーサー



芸術家はほとんど自閉症や！  
 おまじなはバカで天才だ！

天才だ！

特別出演 彫刻家 金城 実さん

京都府八幡市から、生まれ初めて家族のモトを離れ、生まれ初めて飛行機に乗ってやってきた沖縄。たった三日間の旅だったけれど、自閉症のアマチュア写真家・米田祐二君(22歳)は、たくさん人のめくもりに触れながらシャッターを押しました。上の写真は、彫刻家の金城 実さんのアトリエに突然おじゃましたシーン。生まれ初めてコーヒーを飲みました。そして金城さんにたくさん写真を見てもらって、お話を聞きました。



自己アピールと言葉の知識を、障害ゆえに獲得することを遠回りにした祐二です。この時代、デジタルカメラの普及のおかげで、写真が祐二の言葉を代弁してくれました。祐二の写真アルバムを開くと、その時の祐二の声が聞こえてきます。いつのころからか、祐二の写真は祐二の教科書であり、日記であり、記憶であり、会話の媒体であり、人とつながるスキルなんだと気づきました。(母) 米田千鶴さん



国鉄(現在のJR)の順法闘争によって、乗車率300%とかいう超うとら満員電車で痴漢に遭い、過呼吸を起こした中学生の時代以来、私は電車に乗れない。今でこそPTSDとかパニック障害なんて病名がつくけれど、当時はそんな風に社会に認知されていなかった。結局、誰にもそのことを話せず、ホームの端で満員電車を見送って、学校では遅刻魔のレッテル...。いろんな意味で社会は私の「障害」だった。祐二君は写真を撮ることが大好きな、気持ちの優しい青年だ。彼は「自閉症」とか「発達障害」とかって呼ばれているワケなんだけど、彼の「障害」を理解して一緒に時間を過ごしてみたら、彼が社会の障害になっていることなんてひとつもないことがわかる。そして、祐二君が苦しむとき、祐二君が私たちの提案を拒むとき、自分の思うようにいなくて混乱するとき、私たちは彼の個性や意思や状況を理解できていない。むしろ彼の障害になっているのは私たち自身であり、社会なんだと気づく。この映画は、初めて母のそばを離れてチャレンジした祐二君の旅の記録に、ご自宅での取材を加えた。ご家族が獲得してきた引き出しは、多くの障害がある人の一助になると確信している。 貞末麻哉子(PD)

**米田祐二さんプロフィール**  
 1991年生まれ。京都府八幡市在住。京都府桃山養護学校中等部3年の時、デジタルカメラで本格的に撮影を始め、高等部3年のとき以来、八幡市を中心に京都市内で写真展を開催。2009年から「京都とおきの芸術祭」では毎年受賞する他、2011年「八幡市文化賞 優秀賞」を受賞している。母・兄・祖母の4大家族。自閉症。



米田祐二写真館 (撮影地は沖縄と、地元京都府八幡市周辺)



# ぼくは写真で世界とつながる ～米田祐二 22歳～ 上映会 in 富士 のご案内

日時：2015年 **9月21日** (月・祝日) **13:30** 開映 (開場は30分前)

映画の上映後に、映画の制作者・貞末麻哉子氏によるトーク&音楽を担当した chiharu さんによるミニライブがあります

場所：静岡県富士市 **ラ・ホール富士 2階ホール**

**入場無料**  
 ご来場の際は、入場整理券またはこのチラシをお持ちください  
 「ぼくは写真で世界とつながる」上映実行委員会  
 TEL:090-7957-6773